発言順位	６番

一 般 質 問 発 言 通 告 書

下記事項について質問をしたいので、会議規則第５１条第１項の規定により通告します。

令和　５年　６月　６日

三島市議会議長　　藤江　康儀　様

三島市議会議員　　１　番　　秋山　恭亮

質問事項１　西間門新谷線について

具体的内容　平田新谷線（(都）西間門新谷線）は、東駿河湾広域都市圏（2 市 2 町）における都市内主要幹線の一部で国道１号線と並行に走る東西の路線である。

この路線は市町間連絡のための交通ネットワークを構築し、交通混雑の緩和や産業の活性化につなげる非常に重要なものである。

この西間門新谷線を可能な限り早期に供用開始し、地元住民・三島市民・周辺市町にとってもより良い路線となるよう取り組んでいくことは大切な使命であると考える。

西間門新谷線の三島市における現状、今後の予定について伺う。

1　土地収用について、現在の進捗状況と今後の計画、供用開始の時期目標について伺う。

2　県施工となる 136 号線との接合工事について、詳細を伺う。

3　市民から大溝川沿いの農道接合部に信号取り付けの要望がある。三島市としての見解を伺う。

4　平田新谷線周辺の今後の土地活用の方向性について伺う。

質問事項２　三島市における自動運転バス導入の取り組みについて

具体的内容　2023 年４月、限定地域であれば運転手が乗車しなくてもよい、いわゆる「レベル 4」の自動運転車を活用した公道での巡回サービスが解禁となった。自動運転バスは人件費の削減・交通弱者への救済・ヒューマンエラーによる事故の抑止等、大きなメリットがある。日本では福井県永平寺町でいち早くレベル４の巡回バスが実現している。また国土交通省も、2023 年度を「電動化・自動運転実装元年」に位置付け、自動運転車両の開発・実用化や、道路インフラ側での支援について自動車、道路の両局が一層連携を深めるとともに、他の交通モードなど全省一丸で取り組みを推進していくと発信している。そこで下記の点を伺う。

1　静岡県には様々な事情を抱えた市町がある。近年の静岡県内の自動運転バスの取り組み事例を伺う。

2　２市１町（三島市・裾野市・長泉町）の協議会が発足していると伺っている。三島市と近隣市町の連携について伺う。

3　三島市における自動運転バス運行のメリットを当局はどのように考えているのか。また将来想定される運行方法・路線はどのようなものになるのか。

4　今現在の状況、取り組みについて伺う。